

社会保険料の見積金額計算方法 業界標準を11月に刊行

壁装施工の積算・見積書とあわせ全国各地で報告・講習会実施周知を図る

壁装施工団体協議会はこのほど「社会保険料(法定福利費)の見積金額計算方法」をまとめ、11月に本にして刊行する。同会は、先に完成させた「壁装施工の積算・見積りに関する研究報告書」とともに、これを、業界標準として普及させる事業を計画している。一つは、会員団体所属員への報告、講習会の実働別には、ハウジング業界、建築設計界、建設業界など内装施工業にとっての得意先へも、積極的に配布・PRする予定としている。

計算の標準を要望

本紙既報のとおり同会は平成24年に完成させた「積算・見積り書式」の報告・講習会を全国各地で実施する計画を進めていたが、その管理費の一項目に明示した「法定福利費・保険等」の計算方法について、会員からその業界標準を作成して欲しいという要望が寄せられていた。

そこで同会は平成25年5～6月ごろから、同問題の専門家である社会保険労務士の長手瑞美氏が、旧壁装材料協会の総務を担当していた人であり、業界にも詳しく適任であるとして、同氏に前記の「社会保険料(法定福利費)の見積金額計算方法」の執筆と、その後の講習会の講師を担当するよう依頼した。

長手氏も快諾、早速、同教材の執筆に取組み、別掲の通りの内容の同書原稿を作成し、同会は、8月にはその文書を国土交通省にも提出して意見を求めるなどした結果、前記の通り完成・出版するに至った。

国土交通省も評価

同書の「まえがき」で同会理事長西浦光氏が述べているように、「法定福利学保険等」を見積りに明示することは、国土交通省が「社会保険・労働保険の未加入者をなくす」行政指導に力を注ぎ、見積りの実施を発注側も指示・指導するよう求めているところであり、同会もこの指導に添った事業として推進したという。

同会関係者の話では、国土交通省には、「積算・見積りの標準書式」、「同書式抜粋版」、「積算・見積り簡易版」の他、「安全・安心の防火内装」、「素晴らしい壁紙に素晴らしい技術」など、同会の研究成果物を提出し、理解を得よう務めたという。国土交通省も「社会保険料(法定福利費)の見積金額計算方法」を評価し、建設関係団体等への配布や紹介に力を貸してくれているという。

元請け企業も納得！ 社会保険料(法定福利費)見積金額の算定方法

目次の主な項目	
第1章 社会保険の加入に関する建設専門業者指導ガイドライン	
建設専門業者の社会保険未加入業者の加入促進について	
社会保険の加入に関する下請指導ガイドライン	
元請企業の役割と責任	
下請企業の役割と責任	
労働者か請負人かの判断基準	
建設労働者確保育成助成金	
第2章 社会保険の概要	
社会保険について	老齢年金
社会保険一覧	障害年金
社会保険加入について	遺族年金
医療保険制度の特徴	雇用保険制度の概要
公的年金の基本的考え方	基本手当
公的年金のメリット	雇用保険率表
労働保険加入について	労災保険
労働保険加入のメリット	労災保険給付の種類
医療保険制度の体系	特別加入の概要
健康保険制度	労災保険率表
保険給付の種類と内容	労務比率
健康保険料率	労災保険未手続事業主に対する
公的年金制度	費用徴収制度の強化について
公的年金制度の種類	
第3章 社会保険料(法定福利費)算出方法	
計算事例1	賃金支給額より見積金額を算出
計算事例2	賃金支給額より見積金額を算出
計算表2-1	賃金支給額より見積金額を算出
計算事例3	請負金額の労務費より見積金額を算出
計算表3-1	請負金額の労務費より見積金額を算出

講習会の予定

同会は、10月28日に霞ヶ関ビルの東海大学校友会館で「講演会関係連絡会議」を行い、「壁装施工の積算・見積りに関する研究報告書」と、「社会保険料(法定福利費)の見積金額計算方法」の二つの文書の報告・講習会の開催計画を審議した。

その結果、第一回目の講演会は、11月22日午後1時より、東京・足立区勤労福祉会館2階の第1ホールで開催することが決められている。

それ以降は、広島、大阪、仙台、名古屋、福岡等の全国各地で開催することが決定、又は、予定されている。

壁装新聞(第404号)より引用